

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語 B	担当教員	亀山太一		
学年学科	2年 全学科	後期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(C-2) 100%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 様々な課題を通して、英語 4 技能の基礎となる基本的な能力を養う。特に、英語らしい発音と語彙力を高めるため、E ラーニング教材等を利用したドリル演習を主として行う。これにより、以下のような技能を高める。  ① 英語らしい発音で、単語や文が言える ② 自然な発音とスピードの英語を聞き取る ③ 高専生に必要な基本的語彙力を身につける ④ 高専生に必要な基本的文法知識を身につける ⑤ 習った英語で簡単な会話ができる		<b>成績評価の方法：</b> 中間試験 100 点 + 期末試験 100 点に、授業課題点 (100 点換算) を加えた総得点率 (%) によって成績評価を行なう。  <b>達成度評価の基準：</b> 授業で行った課題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお成績評価への重みは、①～④を同じ割合とする。 ① 語彙力に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ② 聞き取りに関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ③ 文法に関する問題をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ④ 既習の英単語および英文の発音をほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業では適宜 E ラーニングシステム (ALC NetAcademy2 等) を利用する。発音については、英語らしくできるよう繰り返し練習することが必要である。					
<b>教科書および参考書：</b> 「COCET2600」(成美堂)、E ラーニング教材 (ALC NetAcademy2)					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：授業ガイダンスと E ラーニングシステムの説明					
第 2 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section1)					A
第 3 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section2)					A
第 4 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section3)					A
第 5 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section4)					A
第 6 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section5)					A
第 7 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section6)					A
第 8 回：中間試験					
第 9 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section7)					A
第 10 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section8)					A
第 11 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section9)					A
第 12 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section10)					A
第 13 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section11)					A
第 14 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section12)					A
第 15 回：語彙および英文法のための E ラーニング (Section13)					A
期末試験					
第 16 回：フォローアップ (期末試験解答解説など)					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	語彙力に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	語彙力に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	語彙力に関する問題を6割以上解くことができない
②	聴き取りに関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	聴き取りに関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	聴き取りに関する問題を6割以上解くことができない
③	文法に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	文法に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	文法に関する問題を6割以上解くことができない
④	既習の英単語および英文の発音を正確に（8割以上）行なうことができる	既習の英単語および英文の発音をほぼ正確に（6割以上）行なうことができる	既習の英単語および英文の発音を6割以上行なうことができない